

チャレンジ工房news

第109号 2020年4月発行

発行先 パソコン工房チャレンジ

編集責任者 曲 圭子

工房の日々

桜の便りが京阪神あちらこちらに届く中で、「新型コロナウイルスの感染者が日々増えている」といったかなり心配なニュースが毎日のように、流れています。

一日でも早く感染拡大が終息し、普段の生活の活気がある生活に戻ってくれることを願うばかりです。

当工房においても、スタッフのマスクの着用、通勤ラッシュなどの鉄道の混雑を避けるための時差出勤をはじめ、朝・昼・夕のこまめな換気、アルコール液の使ったの机、手すり、パソコンキーボード・マウス消毒とできる範囲での感染予防や感染対策に努めていますが、外出することで感染のリスクを感じたり、少しでも体の違和感を感じる日の無理な通所や来所は、お控え頂きますよう重ねてお願いいたします。

このような「コロナウイルス」の感染拡大による入社式・花見会などの文化的イベントの自粛ムードが高まるなか、今春大阪電気通信大学を卒業したばかりの若い男性スタッフが当工房の職員として、新たに入社してくれました。

本来なら、水明公園の満開の桜の下で所員さんたちと歓迎会をして迎え入れたかったのですが、事情が事情だけに「入社式」も「歓迎会」もできずに申し訳ない気持ちでいっぱいです。

彼は、電気通信大学で4年間「コンピューター」を専門に勉強されてきたこともあり、早速大学で学んだ知識や技術を活かして故障していたパソコンの修復作業などをしてくれたり、コンピューターの専門的な知識がいる細かい作業を根気よくやってくれています。

また人当たりも良く、通所してくる所員さん一人ひとりに合わせて、丁寧に分かりやすく指導してくれているので、所員さんたちからも「新しい先生からホームページのリンクのタグを教えて貰って、リンク張りが出来るようになって嬉しい」「川上君は、パソコンのことかなり知っているみたいやし、優しく丁寧に教えてくれるからいいわ」とかなり喜んで貰っています。

ここ数年、スタッフの入れ替わりなどで私の1人勤務が続き、十分な研修ができなくて所員さんに迷惑かけてきたので、所員さんたちからそのような声を聞くことができ、嬉しかったです。

彼に長く工房で勤務してもらえるように色々な面で配慮しつつ、所員さん一人ひとりに「寄り添った研修」を心がけて、今年度スタッフ3人で頑張っていきますので、よろしく願い申し上げます。

所長 曲 圭子

今後の予定

4/29(水)～5/10(日)

ゴールデンウィーク休暇

※新型コロナウイルス対策のため、今年のゴールデンウィークは12日間とさせていただきます。

ご了承ください。



新スタッフ就任のご挨拶

私は、^{かわかみ たかひろ}川上 貴大といいます。今春からパソコン工房で働くことになりました。

大阪電気通信大学でパソコンについて4年間勉強し、今年の春に卒業したばかりの新卒です。自閉スペクトラム症という病気を軽度ながら持っており、会話などのコミュニケーションを苦手としています。ですがコミュニケーションが不可能なわけではなく、しっかりと向き合って話せばちゃんと理解できます。

また、それとは別にペルテス病という股関節の病気も患っているのですが、こちらは幼い頃から時間をかけて治してきており、今では実生活への影響はほとんど無い程度にまで改善されています。

普段は、読書などの一人で出来るような事をよくしており、遊園地などのアウトドア系の遊びにはあまり行きません。これについては、ペルテス病の治療のための入院生活とギブスの装着で、幼い頃に運動などをほとんどしてこなかった事もあるのかもしれませんが。

社会人として働くのは初めてのことで、始めのうちは至らない点もあるかと思いますが、日々の業務を一生懸命頑張つて、皆さんや社会の役に立てるような立派な人間だと胸を張れるよう頑張っていきたいと思っています。

川上 貴大

ぶらっと散歩写真

今月のはじめの土曜日、自宅近くの桜の名所の「夙川公園」に最近の「コロナ疲れ」を癒しに一眼レフを抱えて花見散歩に行ってきました。

ちょうど見頃を迎えていて、桜も「コロナウイルス」の1日でも早い終息を後押しするかのように、色鮮やかに咲いていました。

例年なら桜の下で花見を楽しむ人たちが賑わっていますが、今年は静かに立ち止まって花見の楽しむ人や私みたいに、一眼レフカメラでゆっくりとした雰囲気写真撮影を楽しむ人で、桜の名所も「自粛ムード」に包まれていました。

来年は、今年の方も所員さんたちと一緒に水明公園の桜の下で、花見を楽しむことができたらと思っています。

曲 圭子

